

第2回五泉市総合計画市民まちづくり会議 [結果報告]

開催日: 令和7年8月21日(木)

参加メンバー (◎: 会長、○: 副会長)

	所属等	氏名	グループ
1	五泉商工会議所	吉田 紀子	D
2	村松商工会	今井 将人	E
3	五泉織物工業協同組合	横野 恒明	D
4	五泉ニット工業協同組合	桜井 洋一	E
5	五泉市観光協会	早福 亮	D
6	咲花温泉観光協会	岡崎 昭彦	E
7	五泉市建設業協会	横山 昇	E
8	五泉地区認定農業者会	松澤 克	E
9	村松地区認定農業者会議	松尾 一	D
10	新潟県新潟地域振興局	加口 智一	C

	所属等	氏名	グループ
11	五泉市校長会	小野 裕子	B
12	PTA 連絡協議会	小野澤 康洋	A
13	五泉市文化協会	石川 史嗣	A
14	五泉市スポーツ協会	大槻 彰吉	B
15	新潟大学農学部	○長谷川 英夫	D
16	新潟医療福祉大学	◎丸田 秋男	A
17	開志専門職大学	藤巻 佐和子	C
18	五泉市金融団・村松金融団	渡部 良	C
19	連合五泉支部	阿部 洋志	D
20	株式会社新潟日報社	阿部 慎一	C

	所属等	氏名	グループ
21	新津五泉不動産業協会	高岡 亓郎	A
22	母子保健推進員の会	長谷川 智美	B
23	障がい者総合支援協議会	見原 真	B
24	老人クラブ連合会	熊倉 信昭	B
25	五泉阿賀青年会議所	長谷川 祐哉	C
26	公募委員	高橋 哲	A
27	公募委員	原 健一	E

薄文字: 欠席

◆作業その1: 『現行計画の主な施策の検証』

[作業内容] 現行計画の50施策の中から各委員が専門分野や興味あるいくつかの項目を選定し、施策の成果や課題等を個別に評価。

[作業結果]

■現行計画の評価

施策	評価できる点	評価できない点	提案	その他	備考
2 教育環境	○学習用端末の早期の調達、及び、教員のスキルアップに向けた研修の充実	○プール、グラウンドなどの環境整備	○市営の室内温水の室内温水プールを整備し、夏(6~7月)は学校(スクールバスで送迎)が主に使用し、それ以外の時期は一般市民が使用できるようにするなど担当課をまたいで施設活用を進める(各校のプール修繕は今後行わない)		○一つの施設を様々な年代・用途で活用できるように、担当課をまたいでの効率的な施設運用を行う
4 生涯スポーツ	○スポーツ推進に向けた指導者等の育成が計られている	○少子化等におけるスポーツ人口の減少、スポーツ等の多様化	○スポーツの多様化に向けた施設充実を計る		○新たなスポーツ(例:ボルダリングやスケートボード、eスポーツ)を行うことのできる施設整備ができていない
5 芸術文化活動		○文化団体だけの内輪になりすぎ	○文化団体、市との連動で市民全体に公募を増やすことや、他市、他の博物館美術館との連動	○既存のハコものをもっと活用した方が良いと思う	
7 文化財		○もっと発信を	○城跡はもっとアピールすべき。村松資料館はリニューアルすべき。堀家をアピール、歴史好きが来るぞ		
7 文化財	○村松お城会などを通じて、いろいろなイベントを開いている		○貴重な資料などが多々あるのだから広く世間にTV局などを通じて認識してもらう		
8 高齢者	○高齢者のボランティアやスポーツ大会の健康作りの参加	○高齢者がもっと多く参加してほしい	○大勢の人がボランティア活動に参加してほしい		
8 高齢者	○高齢者を支える担い手を多くの人が参加してほしい				

施策		評価できる点	評価できない点	提案	その他	備考
8	高齢者				<p>○今後の取り組み 8-① 老人クラブ連合会では、高齢期の充実を目的とした「生きがいつくり」、健康寿命の延伸を目的とした「健康づくり」、社会貢献を目的とした「地域づくり」に取り組むことを基本方針としている。老人クラブ連合会としても、周知活動に力を入れ、会員増強を目指していきたい</p> <p>○今後の取り組み 8-④ 敬老会を例に出すと、今までは私の地域(戸倉)では地域の方々がボランティアとして、バスの乗降などのお手伝いをしてくださる方がいた。しかし、近年ではボランティアの減少で、敬老会に出席する高齢者も減少した。 「少しの手助け」があれば外出や活動に参加できる方も少なくない。そういった方のために、地域の高齢者を支える担い手の育成は必要であると考えます。</p>	<p>○今年から敬老会の廃止が廃止され、お年寄りの面倒をみるボランティアがさらに少なくなる不安がある。 ○ボランティアの募集をしても人が集まらない。募集の際は張り紙等の告示よりも直接の声掛けが効果的であり、地域の自治会等、各団体を通しての一層の呼びかけが重要と考える。</p>
9	障がいのある人	○他市と合同で障がいのある人のスポーツ大会を開催する等、交流を促進しているところ	○独居生活を送る人が増加しているところ	○各種サービスの充実、相談支援体制の強化		
9	障がいのある人		○コミュニティの活力を up、維持するにはそこで生活を営む人々の健康はとても重要	○健康(肉体的・精神的・社会的(個人が社会のなかで良好な関係を築き、積極的に社会参加できる状態))に良好な状態 “社会的健康”という視点からの施策		○記載者意見では 9(障がいのある人)と 14(健康づくり)の 2 施策
10	親子の健全な発達	○不妊治療、妊産婦の推進	○人によるものですが、妊娠時の退職率は全国でも多いと思います	○企業への育休申請などの支援 ○つわりの時の休みやすい支援、補助など	○会社には負担がかかるという理由から退職された知人が複数名います。	○企業によっては育休が取りにくい
11	保育支援	○多様な保育ニーズに対応すべく官民が協力した運営がなされている	○小規模園の整理をしても良いのではないかと。		○保育士求人がない	
12	子育て	○安心できる環境づくりの施策は、他の市町村と比較しても十分に整備されている	○(にもかかわらず)出生数、合計特殊出生率が低下している要因を分析する必要があると思われる	○子育ての当事者である子育て世代が主体的に五泉市の強みや魅力を SNS などを通じて市内外に発信していく仕組みが必要と思われる	○(例えば)看護師の人材確保において当事者である看護師自らが情報発信して効果を上げた成功例がある	
13	援助家庭	○ひとり親家庭への経済的支援	○精神疾患の親の育児支援・指導が弱い(訪問をしても話を聞くだけで、アクションが弱い)	○保護者の心身の健康維持のための積極的な介入(医療へつなぐなどの)、保護者との関係性をつくったら次は法的アプローチを進める(子どもは地域の宝なので)		
14	健康づくり	○各種イベントなどを通して(施設の開放)、市民の健康増進に取り組んでいる、それを市民に発信している	○市の取り組みにもかかわらず主な成果指標を 65% に設定している、もう少し指標を上げてもいいのでは?	○高齢者が中心の取り組みになる傾向があるが、働き盛りも参加できるような取り組みができないか(例 運動会など)。一方で民間のジムは盛況		
14	健康づくり		○コミュニティの活力を up、維持するにはそこで生活を営む人々の健康はとても重要	○健康(肉体的・精神的・社会的(個人が社会のなかで良好な関係を築き、積極的に社会参加できる状態))に良好な状態 “社会的健康”という視点からの施策		○記載者意見では 9(障がいのある人)と 14(健康づくり)の 2 施策
15	疾病予防			○病院ざらいの人を病院に行かせる良い方法があれば		

施策		評価できる点	評価できない点	提案	その他	備考
16	食育	○小学校の食事に対する教育等(地域連携等)積極的に行なわれている	○成果指標を見る限り成果が出ていない	○より積極的な取り組みで成果が出るよう!		
17	高齢者福祉	○制度や施策に基づいた取組が進んでいる	○シニア世代あるいは高齢者がまちづくりの担い手となる施策が十分でないと思われる	○地域に実情に応じた多世代交流型の集いや活動の場づくりを積極的に進めていく必要がある	○→地域のこどもや女性、若者、シニア世代が参加・活動できる場 →認知症の高齢者が保育園や学校の発表会の観客となってこどもたちに拍手をおくるなど	
19	社会保障制度	○安定した運営がなされ、地域の下支えとなっている(利用する、しないを選択できるアラカルトがまずまず)	○人口減少に比し、療養給付者は減少していない ○新しい支援体制、施策が後手になっていないか?	○「予防医療」的な観点から施策を組み合わせ→コスト減 ○デジタル化、広域の連携が有効な場合も	○①対象者の明確化・簡素化・シンプルに発信	
21	水供給	○老朽化した水道管を災害に強い耐震管に更新する工事の整備をやっている	○耐震化の進捗率は?どれくらい?	○五泉市の水は井戸水、「蛇口から天然水」くらいのキャッチで売ってもよい	○埼玉の地盤沈下(道路陥没)の調査はやってるのか?	
24	消防・救急・救助	○消防器具等は充足されていると思う	○消防団員の減少化 ○市内における救急医療機関の不足	○市内(中央病院)救急医療と医師等の充実を計る		
25	防災意識	○河川の整備などは随時されているように思う ○防災無線や安心メールなど情報を迅速に伝達される	○市民の防災意識 自主防災組織とあるが、いまいち普及していない	○防災アプリがあればわかりやすい		
27	地域福祉			○小中学生の参加		
28	国際化		○外国人労働者や技能実習生が増えている中、市の取り組みが見えない	○市民への周知、市外への発信、民間団体(あれば)との連携、外国人を主役にしたイベント等の開催	○市民と外国人が交流できる機会を設ける	○市内に外国人技能実習生がととも増えている。小中学生を対象とした国際交流事業だけでなく、大人に対しても外国人に対する相互理解が深まるような取り組みが必要である。
29	商業		○空き店舗の活用が進んでいないように感じる ○中心商店街においての後継者不足等による廃業に歯止めがかかっていない	○継続した空き店舗調査 家主が貸したくなる制度作り(新規玄関設置など) ○事業承継に対する独自の特典など		○空き店舗に住んでいる人が借せるような取組。特に商店街は廃業した店舗と住居が一体化しているため、住居部分と分離することができれば、空き店舗として貸し出すことができるのではないかな。
30	工業	○ニットフェスをはじめとするイベントの協力をいただいていること。 ○鎌倉シャツとの協定など外部へのPR促進をしていただいていること。	○結果としてまだ成果が出ていない。	○製品を自社で販売する工場が増えてきている。日本と海外でトレンドは違うと思うが海外の方に刺さるような物をリサーチし作り、それを上手くPRすることが出来ればもう少しマシになるような気がします。		
30	工業	○市の主要産業であるニット・織物業の出荷額が増加している	○人口減少の原因である雇用促進が出来ていない	○企業誘致を積極的に進める為に工業団地や必要な土地の提供が出来る対策をすべき→メリット提示		
32	農業の担い手	○計画は良いものが出来ている	○実行がともなっていない ○市単補助等は予算不足で終了している	○国が新たな戸別所得補償を行なう ○他産業並の所得が得られる施策を実施する		
32	農業の担い手		○農地集積・集約化が進んでいない・農機具に対する補助金の枠が少ない	○もっと説明会を開く(メリット・デメリットの説明)・若い人に対して補助金が届くようにする。(優先順位を高くする)	○農地中間管理機構は現在、受け手、出し手を決めてからやっと利用できるような形になっているが、もっと事前調整なしに使いやすくなると良い。	○説明会は地域でやりたいとの意見が出てから始まる。また、メリットしか説明がないように思う。もっと長期的に次の担い手が農業を行っていきけるよう説明をしてもらいたい。
33	農地と農村	○農地の維持管理はおおむねできている ○地域によっては農地の集積もできている	○基盤整備と農地集積が他市町村に比べると遅れている気がする	○これから人口減少、特に、農村地域の生産年齢世代の減少で農地維持が難しくなってくる、農地の基盤整備等が必要です		

施策		評価できる点	評価できない点	提案	その他	備考
34	森林資源	○森林環境譲与税の活用	○間伐材のリサイクルがない	○この税を利用し、他の事業と抱合せる		
35	観光と都市交流	○阿賀野川ライン沿線自治体と連携した広域観光の取組(機能しているかは別として方向性はよい)	○江東区などとの都市交流を「交流人口の拡大と地域経済の活性化」と位置付けることはなじまない 都市交流は友好交流を深め互いの地域を理解し双方の発展に結びつけていくもの、観光部門の事業ではないのではないか。	○ラポルテ五泉の機能強化(更なる魅力づくり施設規模拡大)による観光誘客促進		
35	観光と都市交流	○ラポルテ五泉、花など、地域の魅力創出に尽力	○宿泊事業者を中心とした、市民の受入体制 ○他市町村との連携 ○二次交通 ○一過性の訪問に終わらない関係人口の創出	○市民への魅力理解促進(インナーブランディング) ○生活に近い、文化などの観光資源活用	○他市町村と方向性をそろえて、観光促進	
35	観光と都市交流	○自然の豊かさ ○美味しい食材	○市外・県外にいと良さがわからない ○アクセスの悪さ	○アクセスが良くなったら来る頻度が増える ○食材・加工品だけでなくその場で食せる物をアピール ○首都圏に向けたアピール ○体験型観光		
35	観光と都市交流	○①水かけまつり(R6～)など新たな取組をスタート ○②ラポルテ五泉のキラーコンテンツ化(見事)	○交流人口(にぎわい)の増加(→何かの目的に来る。来る理由を増やす) ○プロモーション、見つけてもらう、知ってもらう工夫不足	○1.何かに特化する、「尖る」こと。コンセプトを1つ(中核となるもの)(○○の聖地など) ○2.吉田家、空き家の活用 ※「トガったモノヤコト」を創出してプロモーション	○ガンダム・エヴァンゲリオン(鶴巻監督)の出身地であることを活用できないか。	
35	観光と都市交流	○パンフレットやホームページ・SNSを活用し、観光客からの情報も活かしながらやっている点	○花シリーズなど観光客の多くが数時間の滞在で市外へ移動してしまい。経済活動につながっていない点	○市内への受け入れ体制の強化が必要。花以外にも、水をもっとアピールする。		
37	地域の魅力	○ウェルカムファミリー事業 ○他の市町村より補助金を出して五泉市に移住させた		○補助金の増額		
37	地域の魅力	○37-② その他の市町村にはない、手厚い補助金の制度があり、(五泉市グランドファミリー、五泉市住宅リフォームなど)住宅支援は充実していて今後も継続すべき	○37-② 年度内に予算が無くなってしまう事があってはならない	○37-③ 「空き家バンク」について、行政主体で行う方向から建設業各団体、不動産団体など地域と協力・連携して行う方がよい		
38	ごみの減量化	○指定袋制の導入	○リサイクルが中途半端	○剪定枝、刈草の堆肥化		
39	生活排水	○下水道整備率が年々増加している	○集落が点在している状況から合併浄化槽の設置補助率をアップしてあげたらどうか			
40	道路整備	○道路補修等、必要な維持管理、パトロールや連絡を通じて危険箇所の発見に努めている	○五泉市発展の為に新潟市や近隣とのアクセス道路が無い	○新潟市や近隣とのアクセス道路を計画すべき	○人・企業が来るには道が大事。県都新潟市が隣という地の利を生かし、ベッドタウンとして機能してもらうためにもアクセス道路の整備が必要。道が不便で実際冬期間市外の職場近くへ流出している人もいる。	

施策		評価できる点	評価できない点	提案	その他	備考
41	公共交通	○利用させてもらっている。大変助かっている	○予約が1週間前から、もう少し前から予約ができ、状況が可視化されていると予約がとれなかった場合の次の手段を早めに検討できる ○郊外と郊外を結ぶラインなどラインの新設があっても良いと思う ○病院用途・時期などに合わせて臨時ラインを出すのも有効か			
42	住環境	○住みやすいまちを目指して、住宅整備、公共交通などを整備している	○転出者>転入者の現状	○市内の住環境整備を進めつつ、主な転出先(新潟市・長岡市・上越市)へのアクセスを改善すると、五泉市に住んで他市へ通うことができるのではないかな?		
43	緑豊かな憩いの場	○遊具の更新などより安全な憩いの場が提供されている	○村松公園の桜、愛宕山の遊歩道の老朽化や立木の管理が十分ではない ○また桜だけで終わっている村松公園の更なる活用	○桜の植替え ○夏、秋にも公園に訪れてもらえるよう桜以外の植樹 ○屋根付き遊具の設置	○通年で来てもらえる取組と、花のまちを更にPRできるように、ひまわりを整備したり、圧倒的なパフォーマンスのものを提供していくとよいのではないかな。 ○来てもらった方より駐車場用料など負担してもらって持続的にイベントや施設整備に活用していけるような取組をおこなった方がよい。	
44	市民参加	○祭りがある事	○子どもが主役になる祭りになっている ○活気が薄れていく ○町内の祭りが減っている ○世代のつながりが少なくなる	○大人が主役となり、子ども達にあこがれる存在になる ○祭りの他町内でつながり、合併ではないが話し合える環境づくり	○小さな祭りも含め、地域のコミュニティが減らないようにしたい	○子供向けが多く、中高生や若者も参加する様なイベントが少ない ○水かけまつりなど、その場だけで完結してしまっている
48	財政運営	○事業の見直し、財源確保に取り組んでいる ○実質公債化率、将来負担化率は減少	○財政状況の理解(市民の「自分のコト」) ○財源の確保	○少子高齢化に伴う税収減の見込み推移可視化 ○目的税検討による受益者負担		
49	組織・機構改革	○改革の必要性を認めている(項目として必要)	○市民サービスの向上を図ることを目的に組織を拡大すべきではない。行政の人気取りは不要	○他の自治体同様ではなく、五泉独自の見直しが必要		

◆作業その2：『新計画のキーワード、フレーズの検討』

[作業内容] ①五泉市の魅力・特徴・推し、五泉らしい(相応しい)ワードなどを検討 ②新しい将来像(キャッチフレーズ)や基本政策(テーマ)を検討

[作業結果]

作業①-1では、「自然環境」(川や水、花など)、「歴史文化」、「産業」(織物、ニット)、「食」(里芋)に関する魅力が多く挙げられました。
 作業①-2では、①-1で挙げられた「水」や「歴史・文化」、「農産物」、「人材」のほか、「リゾート」、「動線(周遊)」、「ストーリー」など様々なイメージが検討されました。

■①-1 五泉市の魅力・特徴・推し、五泉らしい(相応しい)ワードなど

分類		出された意見
自然環境	空	青空、空が広い、星輝く
	川・水	泉、川(2)、清流(2)、水(2)、湧水、豊かな水
	木・花	桜(3)、杉並木、いちよう、花(3)、ぼたん
	他	緑、山が深い、風、自然(2)
歴史文化		風鈴まつり、水かけまつり、慈光寺、堀家、歴史と文化(2)
人材		人物(かくれている)、若者と女性、鶴巻和哉
産業	織物・ニット	織物またはニット(6)、養蚕の歴史
	その他	伝統、和紙、咲花
食・食材		里芋(3)、美味しい物が多い、おいしそう、鯉料理、水と食
その他	環境・雰囲気	高齢者のいきがいの町、災害少ない、ホスピタリティ、豊かさ
	施設	ラポルテ五泉、Sマート
	他その他	学童野球、ガンダム

■①-2 将来の五泉市イメージ

出された意見	想いなど
おいしい水、農産物	
ひと水みどり	
豊富な歴史・文化・自然	
隠れた人材の発掘	
地域の動線ができる	周遊できる環境・しくみ
リゾート(新潟市の奥座敷)	
ロードマップ	道に他の施設に繋がる線が引いてあり、周遊できるように
ストーリー性あるものに	様々な資源がつながり、ストーリーが生まれるように
五泉市みんながつながるSNS	
時代と向き合い続ける	

[作業結果]

作業②-1では、①と同様に「自然環境」、「歴史文化」や市の環境・雰囲気を用いたに将来像があげられました。また、現行の「ずっと五泉」をアレンジした表現も検討されました。
 作業②-2では、基本政策として現行の「五つの泉」を存置する案が多くグループで出され、その内容を見直す考えや具体案が多く検討されました。

■②-1 将来像(キャッチフレーズ)

分類		出された意見
自然環境	泉・水	○泉からあふれる ○おいしい水 五泉 ○蛇口ひねったら天然水【インパクトあるもの、興味わくもの】 ○水がつながる ○水水しいまち
	木・花	○花と笑顔が咲くまち五泉 ○花ひらく水と緑のまち五泉
	四季	○四季が咲き誇る街 五泉市 ○四季と生きる 未来を育む五泉市
	他	○自然と共に歴史発掘 ○めちやくちや大自然
歴史文化		○歴史とストーリーのまち五泉 ○歴史と文化を誇りにするまち五泉 ○歴史発見の街 新しい発見・発掘
人材		○ひと、まち、未来をうるおす五泉市 ○ひと、まち、未来を紡ぐ五泉市
環境・雰囲気	情緒・心象	○心洗う水の町 ○心豊かに自分らしく生きるまち五泉 ○静かな街 ○のんびりと心を休めるまち五泉 ○ホスピタリ日本一のまち五泉 ○豊かさを感じるまち五泉(満足度をあげる)
	その他	○老いたら五泉へ(住みよいよ) ○新潟市のとなり ○ほどよい便利
現行計画(アレンジ)		○五泉でいいか(ネガティブ逆説的) ○これまでも(五泉) これからも(五泉) ○もっと五泉【ずっと五泉の続編】 ○ずっと五泉 でよい ○ずっと五泉 もっと五泉【現行計画をアレンジ】
その他	○自然と産業が調和する持続可能な未来都市 五泉市 ○人と自然が織りなす【絹織物から“織る”を連想】	
	○五泉から ○五泉に住もう ○五泉発 ○夢あふれる五泉市 次の一歩もその先も ○結びの里、五泉 ○Go!Center!(ゴセン)【語呂合わせ】 ○かけ算のまち【例】水×食×いろいろ】	
	○聖地!五泉(ガンダム) ○〈副題〉～つくります(つくる) 五つの泉～	

■②-2 基本政策(テーマ)

分類	出された意見	
既存の基本政策(存置)	○5つの泉はそのままよい(5) ○基本政策はそのまま下にぶらさがるものを整理。 ・静かの泉、動く泉 ・女性の泉、若者の泉 ・安心・活気・快適(そのまま) いきいき→笑顔 ふれあい→交流” ・いきいきの泉 ・育みの泉	現行計画のアレンジ。 二字熟語に統一
市の特徴	・“○○咲かそう(ひと、まち、ものがたり、…)” ・これからも水をたいせつに	
市民・人材	・市民主体になって経済をまわしていく(八幡様のような人を呼ぶイベントなど) 「五泉っていいよね」→「五泉に住みたい」 ・子供を中心に考えていく	
その他	・ホスピタリティ ・ワンチーム ・五つの泉では数が多く覚えられない ・シンボルタワー的な物がほしい(五泉市の発信的アイテムにしたい) ・フェーズフリー(災害や障がいの当事者になったときも普段通りの暮らしを送ることのできる体制の構築)	